

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年1月31日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障の改悪やめろ！ 拡充しろ！

1.28国会開会日 集会・デモ

1月28日、通常国会が開会しました。安倍自公政権は、今国会で、生活保護の基準引き下げや制度の改悪など、社会保障の改悪を進めようとしています。この日「守ろう！くらしといのち」国会召集日デモを行い、150人が参加しました。

大通公園での集会では、道生連の佐藤事務局長が、生活保護の実態と改悪の内容やその影響を告発しました。集会後は、札幌駅前通りを行進し、自民党道連事務所前でもシュプレヒコールをしました。

2月から「社会保障の改善を求める署名」（中央社保協）もはじめます。要求や実態に基づいて、社会保障の改悪はやめて、拡充させるとりくみを広げましょう。



切実な道民要求にもとづき、北海道へ要請行動 交渉



1月31日、国民大運動北海道実行委員会は、「道民の安全と地域経済を守り、医療・福祉・教育を充実させ、安心してくらすせる北海道」を求めて、北海道に対して、2013年度予算への要求書を提出し交渉しました（要求内容は、○雇用問題、○防災問題、○脱原発、○医療、○教育、○介護・福祉、○地域経済、○公務員などの8項目）。

社会保障分野では、生活保護の引き下げでの就学援助など道民への影響を質問、国に対して改悪しないように働きかけることを求めました。医療では、乳幼児などの医療費軽減制度の拡充や、高すぎる国保料の軽減や窓口負担軽減のための補助の拡充など、全ての道民のいのちと健康を守ることを求めました。介護・福祉問題でも、介護保険料の軽減を道としての施策や介護職員の処遇改善のために国へ働きかけることも求め、保育所の施設面積基準の拡充などを求めました。2月6日には、道生連が北海道と交渉する予定です。

駅の待合室は寒く二枚しかないズボンを重ねて寝ている。

函館社保協 無料相談会

「70歳の男性が早く人間らしい生活がしたい」と相談 翌日、生活保護を申請

1月30日、函館地方社会保障推進協議会主催の路上生活者相談会が函館市の海岸町会館でひらかれました。同社保協はこの冬に四回、JR函館駅やフェリーターミナルなどで夜間調査を行い、ホームレスの方へ自立にむけた相談活動や、今回の相談会開催のチラシなどを配布してきました。

相談会に来た70歳の男性の方は、本州で重機のオペレーターを続けていましたが仕事がなくなり、以前住んでいた函館に戻り、数カ月前よりホームレスを続けています。日中は市役所や駅周辺の商店などで時間をつぶし、夕方に駅へ戻ってくる生活をしています。「駅の待合室は寒く、二枚しかないズボンを重ねて寝ている。不景気で仕事がなく、早く人間らしい生活がしたい」と語ります。相談会の翌日、住まいが見つかりました。早速、保護課で正式な保護申請を終えました。同社保協では、今後も路上生活者への生活支援や健康相談の活動を開催する予定です。



貧困をなくそう！全道学習・運動交流集会

2月2日(土) 10:00~15:30 北海道高教組センター

記念講演「貧困と自己責任」 講師 河添 誠氏(首都圏青年ユニオン副委員長)

【参加費無料】 主催：雇用・くらし・SOSネットワーク北海道

